



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月11日

上場会社名 アイフル株式会社 上場取引所 東
コード番号 8515 URL <https://www.aiful.co.jp>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 福田 光秀
問合せ先責任者（役職名） 経営計画部長（氏名） 阿部 育生 TEL 03-4503-6050
半期報告書提出予定日 2025年11月12日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年中間期増減率）

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	104,454	14.4	16,705	84.9	16,489	69.6	12,661	76.1
2025年3月期中間期	91,273	15.4	9,036	37.0	9,721	34.9	7,188	8.8

（注）包括利益 2026年3月期中間期 12,283百万円（73.1%） 2025年3月期中間期 7,095百万円（△2.5%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	26.44	—
2025年3月期中間期	14.94	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	1,520,877	233,043	15.1
2025年3月期	1,448,451	221,396	15.0

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 229,774百万円 2025年3月期 217,923百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	1.00	1.00
2026年3月期	—	6.00	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	—	—	6.00	12.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	213,500	12.9	32,300	27.7	33,000	23.1	27,600	22.6	57.63

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 有

AGソリューションテクノロジー株式会社、セブンシーズ株式会社、株式会社
新規 6社(社名) 社Liblock、株式会社セイロツ、除外 社(社名)
プ、株式会社テンプレート、スマート
リンク株式会社

(注) 当中間連結会計期間より、上記6社を連結の範囲に含めております。詳細は、添付資料12ページ「2. 中間連結財務諸表及び主な注記 (4) 中間連結財務諸表に関する注記事項(連結範囲の重要な変更)」をご覧ください。

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期中間期	484,620,136株	2025年3月期	484,620,136株
② 期末自己株式数	2026年3月期中間期	5,623,677株	2025年3月期	5,789,904株
③ 期中平均株式数(中間期)	2026年3月期中間期	478,894,705株	2025年3月期中間期	481,066,341株

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料5ページ「1. 当中間決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) キャッシュ・フローの状況	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 中間連結貸借対照表	6
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	8
中間連結損益計算書	8
中間連結包括利益計算書	9
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(連結範囲の重要な変更)	12
(表示方法の変更)	12
(中間連結損益計算書関係)	13
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	14
(企業結合等関係)	15
(セグメント情報等の注記)	17

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループを取り巻くノンバンク業界においては、活況な資金ニーズを背景として消費者向けローン事業の新規成約件数や営業貸付金残高は堅調に推移しております。また、利息返還請求については、外部環境の変化等の影響を受けやすく、一定の留意は必要なものの、着実に減少しております。

このような環境のもと、当社グループは、2027年3月期を最終年とする中期経営計画の達成に向け、ローン事業や信用保証事業、クレジット事業といった主力事業の残高成長やコスト構造改革によるグループ全体の利益水準の向上に努めております。また、あらたな成長ステージに向けて、成長率の高い事業やM&Aに投資し、更なる企業価値の向上を実現してまいります。

前連結会計年度まで非連結子会社であったAGソリューションテクノロジー株式会社、セブンシーズ株式会社、株式会社Liblock、株式会社セイロップは、重要性が増したため、当中間連結会計期間の期首より連結の範囲に含めております。また、2025年5月1日付で株式会社テンプレート、2025年6月20日付でスマートリンク株式会社の全株式を取得し、いずれも2025年6月30日をみなし取得日として、当中間連結会計期間より連結の範囲に含めております。

(業績の概況)

当中間連結会計期間における当社グループの営業収益は104,454百万円（前年同期比14.4%増）となりました。その主な内訳といたしましては、営業貸付金利息が57,811百万円（前年同期比11.6%増）、包括信用購入あっせん収益が11,513百万円（前年同期比3.4%増）、信用保証収益が11,693百万円（前年同期比12.2%増）となっております。

営業費用は87,748百万円（前年同期比6.7%増）となりました。その主な要因といたしましては、金融費用が1,411百万円（前年同期比31.6%増）、SES事業を営む連結子会社の増加により売上原価が1,099百万円（前年同期比634.0%増）が増加しております。

以上の結果、当中間連結会計期間における当社グループの営業利益は16,705百万円（前年同期比84.9%増）、経常利益は16,489百万円（前年同期比69.6%増）となりました。また、親会社株主に帰属する中間純利益は、税金費用を3,675百万円を計上した結果、12,661百万円（前年同期比76.1%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(アイフル株式会社)

〔ローン事業〕

テレビCM等によるブランディングの強化やWEB広告を中心とした効果的かつ効率的な広告戦略により新規顧客の獲得強化を推進しております。また、社内エンジニアによるデジタル分野の内製化により公式サイトやスマホアプリ、申込フォームの改善等、顧客ニーズに応じたスピーディな対応を実現し、UI／UXの強化、顧客満足度の向上に継続的に取り組んでおります。

その結果、当中間連結会計期間末における個人向け無担保ローンの営業貸付金残高は622,452百万円（前期末比4.1%増）、有担保ローンの営業貸付金残高は1,176百万円（前期末比15.1%減）、事業者向け無担保ローンの営業貸付金残高は16,102百万円（前期末比8.4%増）、ローン事業全体の営業貸付金残高は639,732百万円（前期末比4.2%増）となりました（債権の流動化によりオフバランスとなった営業貸付金665百万円が含まれております。）。

また、当中間連結会計期間における当社の個人向け無担保ローン新規成約件数は15万3千件（前年同期比11.1%減）、成約率は30.9%（前年同期比4.2ポイント減）となりました。

〔信用保証事業〕

個人及び事業者の与信ノウハウや独立系の強みを活かし、保証残高拡大に向けた商品の多様化や新規保証提携の推進に取り組んでおります。

その結果、当中間連結会計期間末における個人向けローンの支払承諾見返残高は224,995百万円（前期末比15.4%増）、事業者向けローンの支払承諾見返残高は77,737百万円（前期末比11.8%増）となりました。

なお、事業者向けローンの支払承諾見返残高のうち、2百万円はリース保証、695百万円はAGビジネスサポート株式会社への保証によるものであります。

以上の結果、当中間連結会計期間における当社の営業収益は59,352百万円（前年同期比11.1%増）、営業利益は12,215百万円（前年同期比88.2%増）、経常利益は14,786百万円（前年同期比73.8%増）、中間純利益は12,619百万円（前年同期比103.5%増）となりました。

(ライフカード株式会社)

〔クレジット事業（包括信用購入あっせん事業）〕

新規提携・タイアップカードの発行、優待サービスの拡充、TVCMやSNSでの広告展開により新規会員の獲得および稼働会員数の向上に努めております。

その結果、当中間連結会計期間における取扱高は394,115百万円（前年同期比3.8%増）、当中間連結会計期間末における包括信用購入あっせん事業に係る割賦売掛金残高は116,448百万円（前期末比0.8%増）となりました（債権の流動化によりオフバランスとなった割賦売掛金5,988百万円が含まれております。）。

〔カードキャッシング事業〕

当中間連結会計期間末のカードキャッシング事業における営業貸付金残高は21,641百万円（前期末比0.6%減）となりました（債権の流動化によりオフバランスとなった営業貸付金1,524百万円が含まれております。）。

〔信用保証事業〕

当中間連結会計期間末における個人向け無担保ローンの支払承諾見返残高は26,625百万円（前期末比1.6%減）、事業者向けローンの支払承諾見返残高は1,889百万円（前期末比1.8%増）となりました。

以上の結果、当中間連結会計期間におけるライフカード株式会社の営業収益は19,572百万円（前年同期比3.0%増）、営業利益は178百万円（前年同期比52.7%減）、経常利益は295百万円（前年同期比32.6%減）、中間純損失は58百万円（前年同期は665百万円の中間純利益）となりました。

(その他)

当中間連結会計期間における報告セグメントに含まれない連結子会社14社（AIRA & AIFUL Public Company Limited、AGビジネスサポート株式会社、AG債権回収株式会社、AGキャピタル株式会社、AGペイメントサービス株式会社、AGメディカル株式会社、株式会社FPC、ビットキャッシュ株式会社、AGソリューションテクノロジー株式会社、セブンシーズ株式会社、株式会社Liblock、株式会社セイロップ、株式会社テンプレート、スマートリンク株式会社）の営業収益は25,833百万円（前年同期比35.6%増）、営業利益は3,080百万円（前年同期比281.9%増）、経常利益は3,121百万円（前年同期比280.2%増）、中間純利益は2,036百万円（前年同期比260.7%増）となりました。

なお、SES事業を営む連結子会社の増加により営業収益は、その他の営業収益に含まれるソフトウェア開発売上高が1,082百万円、営業費用は売上原価に含まれるソフトウェア開発売上原価が919百万円それぞれ増加しております。

(財政状態)

当中間連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末に比べ72,426百万円増加の1,520,877百万円（前期末比5.0%増）となりました。増加の主な要因は、営業貸付金33,808百万円、割賦売掛金14,760百万円、のれん643百万円増加などによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ60,779百万円増加の1,287,834百万円（前期末比5.0%増）となりました。増加の主な要因は、金融機関からの借入れによる資金調達関連の増加などによるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ11,646百万円増加の233,043百万円（前期末比5.3%増）となりました。増加の主な要因は、利益剰余金の増加などによるものであります。

(2) キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」といいます。）は、前連結会計年度末に比べ11,709百万円減少の44,218百万円（前期末比20.9%減）となりました。当中間連結会計期間における、各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは35,630百万円の支出（前年同期比30.8%減）となりました。これは主に、営業貸付金や割賦売掛金などの債権の増加による資金の減少などによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは634百万円の支出（前年同期比95.2%減）となりました。これは主に、無形固定資産の取得による支出及び長期貸付けによる支出が、定期預金の払戻による収入を上回ったことなどによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは23,800百万円の収入（前年同期比56.2%減）となりました。これは主に、借入金などによる収入が返済による支出を上回ったことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは、2025年5月9日に公表した2026年3月期の業績予想について、以下のとおり、修正しております。

2026年3月期連結業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前 回 業 績 予 想 (A)	百万円 210,700	百万円 29,500	百万円 30,000	百万円 23,800	円 銭 49.70
今 回 修 正 予 想 (B)	213,500	32,300	33,000	27,600	57.63
増 減 額 (B) - (A)	2,800	2,800	3,000	3,800	—
増 減 率 (%)	1.3	9.5	10.0	16.0	—
(ご参考) 前期実績 (2025年3月期)	189,054	25,302	26,817	22,516	46.91

2026年3月期個別業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前 回 業 績 予 想 (A)	百万円 119,000	百万円 19,900	百万円 24,200	百万円 20,300	円 銭 42.39
今 回 修 正 予 想 (B)	120,500	24,400	28,700	26,800	55.96
増 減 額 (B) - (A)	1,500	4,500	4,500	6,500	—
増 減 率 (%)	1.3	22.6	18.6	32.0	—
(ご参考) 前期実績 (2025年3月期)	110,158	20,391	23,996	19,562	40.76

(修正の理由)

収益面は堅調な資金ニーズを背景にローン事業やクレジット事業、信用保証事業が順調に推移し、今後も営業債権残高の拡大を見込んでおります。また、新たに連結対象となったSES事業を営むグループ会社5社、及びSESの中間持株会社1社を計画に織り込んでおります。

この結果、連結の営業収益は2,135億円（前回予想比28億円増）、営業利益は323億円（前回予想比28億円増）、経常利益は330億円（前回予想比30億円増）、親会社株主に帰属する当期純利益は276億円（前回予想比38億円増）となる見込みであります。

個別の営業収益は1,205億円（前回予想比15億円増）、営業利益は244億円（前回予想比45億円増）、経常利益は287億円（前回予想比45億円増）となる見込みであります。

また、アイフルにおいて繰延税金資産の積み増しを予定しており、当期純利益は268億円（前回予想比65億円増）を見込んでおります。

上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づく見通しであり、最終の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	60,608	44,252
営業貸付金	785,674	819,482
割賦売掛金	197,300	212,060
営業投資有価証券	3,361	3,093
支払承諾見返	303,943	341,681
その他営業債権	19,376	20,340
買取債権	9,877	9,970
未収入金	18,090	19,030
その他	28,723	29,222
貸倒引当金	△90,017	△90,288
流動資産合計	1,336,938	1,408,845
固定資産		
有形固定資産	34,154	33,666
無形固定資産		
のれん	9,707	10,351
その他	19,795	21,300
無形固定資産合計	29,502	31,652
投資その他の資産	47,855	46,712
固定資産合計	111,512	112,032
資産合計	1,448,451	1,520,877
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	60,961	57,528
支払承諾	303,943	341,681
短期借入金	84,894	99,658
関係会社短期借入金	488	467
コマーシャル・ペーパー	17,400	12,000
1年内償還予定の社債	15,000	30,000
1年内返済予定の長期借入金	252,042	249,901
未払法人税等	4,171	4,921
引当金	1,929	1,674
その他	48,639	52,849
流動負債合計	789,470	850,683
固定負債		
社債	95,000	105,000
長期借入金	324,792	316,296
退職給付に係る負債	75	111
繰延税金負債	343	474
利息返還損失引当金	8,772	7,496
役員退職慰労引当金	—	41
保険契約準備金	1,868	1,798
その他	6,732	5,931
固定負債合計	437,584	437,150
負債合計	1,227,054	1,287,834

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年 3 月31日)	当中間連結会計期間 (2025年 9 月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	94,028	94,028
資本剰余金	14,017	14,017
利益剰余金	112,319	124,214
自己株式	△4,541	△4,410
株主資本合計	215,824	227,850
その他の包括利益累計額		
其他有価証券評価差額金	813	786
為替換算調整勘定	1,285	1,137
その他の包括利益累計額合計	2,098	1,924
非支配株主持分	3,473	3,269
純資産合計	221,396	233,043
負債純資産合計	1,448,451	1,520,877

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年 4 月 1 日 至 2024年 9 月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年 4 月 1 日 至 2025年 9 月30日)
営業収益		
営業貸付金利息	51,819	57,811
包括信用購入あっせん収益	11,133	11,513
個別信用購入あっせん収益	3,369	4,362
信用保証収益	10,420	11,693
その他の金融収益	9	33
保険収益	2,285	3,305
受取手数料	2,831	4,582
その他の営業収益	9,403	11,151
営業収益合計	91,273	104,454
営業費用		
金融費用	4,465	5,877
売上原価	173	1,272
保険費用	1,709	2,973
その他の営業費用	75,888	77,624
営業費用合計	82,236	87,748
営業利益	9,036	16,705
営業外収益		
受取配当金	27	30
持分法による投資利益	39	49
為替差益	510	—
不動産賃貸料	49	69
その他	77	141
営業外収益合計	704	290
営業外費用		
為替差損	—	486
貸倒引当金繰入額	4	5
その他	14	15
営業外費用合計	19	506
経常利益	9,721	16,489
特別損失		
減損損失	1,582	—
固定資産除却損	—	53
事業構造改善費用	—	153
特別損失合計	1,582	206
税金等調整前中間純利益	8,139	16,282
法人税、住民税及び事業税	2,080	4,321
法人税等調整額	△818	△646
法人税等合計	1,261	3,675
中間純利益	6,877	12,607
非支配株主に帰属する中間純損失 (△)	△310	△54
親会社株主に帰属する中間純利益	7,188	12,661

中間連結包括利益計算書

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	6,877	12,607
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△148	△26
為替換算調整勘定	366	△298
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	0
その他の包括利益合計	217	△324
中間包括利益	7,095	12,283
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	7,221	12,487
非支配株主に係る中間包括利益	△126	△204

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	8,139	16,282
減価償却費	2,075	2,642
のれん償却額	295	592
保険契約準備金の増減額 (△は減少)	△27	△69
減損損失	1,582	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	3,460	△114
賞与引当金の増減額 (△は減少)	47	△239
株式給付引当金の増減額 (△は減少)	△22	△32
利息返還損失引当金の増減額 (△は減少)	△1,676	△1,275
受取利息及び受取配当金	△55	△86
為替差損益 (△は益)	△574	494
持分法による投資損益 (△は益)	△39	△49
営業貸付金の増減額 (△は増加)	△31,390	△35,528
割賦売掛金の増減額 (△は増加)	△14,065	△14,760
その他営業債権の増減額 (△は増加)	△1,364	△963
未収入金の増減額 (△は増加)	10,642	△1,035
預り金の増減額 (△は減少)	△9,922	1,245
買取債権の増減額 (△は増加)	△998	△92
破産更生債権等の増減額 (△は増加)	702	770
営業保証金等の増減額 (△は増加)	90	—
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	3,112	20
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△16,664	△1,079
その他	△1,822	1,066
小計	△48,477	△32,214
利息及び配当金の受取額	75	107
法人税等の還付額	84	35
法人税等の支払額	△3,152	△3,559
営業活動によるキャッシュ・フロー	△51,469	△35,630
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△4,631	—
定期預金の払戻による収入	4,949	4,646
有形固定資産の取得による支出	△329	△689
無形固定資産の取得による支出	△3,951	△2,906
投資有価証券の取得による支出	△909	△765
長期貸付けによる支出	△2,045	△1,066
長期貸付金の回収による収入	150	94
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△6,759	△220
その他	444	274
投資活動によるキャッシュ・フロー	△13,082	△634

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,149,184	1,326,291
短期借入金の返済による支出	△1,162,488	△1,310,835
コマーシャル・ペーパーの発行による収入	115,800	128,400
コマーシャル・ペーパーの償還による支出	△80,800	△133,800
長期借入れによる収入	174,875	137,531
長期借入金の返済による支出	△139,427	△148,189
社債の発行による収入	30,000	25,000
社債の償還による支出	△30,000	—
配当金の支払額	△483	△478
自己株式の取得による支出	△2,000	△0
その他	△267	△118
財務活動によるキャッシュ・フロー	54,391	23,800
現金及び現金同等物に係る換算差額	88	△30
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△10,072	△12,495
現金及び現金同等物の期首残高	51,934	55,928
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	2,086	786
現金及び現金同等物の中間期末残高	43,948	44,218

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結範囲の重要な変更)

前連結会計年度まで非連結子会社であったAGソリューションテクノロジー株式会社、セブンシーズ株式会社、株式会社L i b l o c k、株式会社セイロップは、重要性が増したため第1四半期連結会計期間の期首より連結の範囲に含めております。

また、当中間連結会計期間において、2025年5月1日付で株式会社テンプレート、2025年6月20日付でスマートリンク株式会社の全株式を取得したことにより連結の範囲に含めております。なお、2025年6月30日をみなし取得日としております。

(表示方法の変更)

(中間連結貸借対照表関係)

前連結会計年度において、「固定負債」の「その他」に含めていた「退職給付に係る負債」は、重要性が増したため、当中間連結会計期間より独立掲記することとしております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結財務諸表において、「固定負債」の「その他」に表示していた6,808百万円は、「退職給付に係る負債」75百万円、「その他」6,732百万円として組み替えております。

また、前中間連結会計期間において、「固定負債」の「その他」に含めていた「繰延税金負債」は、重要性が増したため、当中間連結会計期間より独立掲記することとしております。

(中間連結損益計算書関係)

前中間連結会計期間において、「営業外収益」の「その他」に含めていた「不動産賃貸料」は、営業外収益の総額の100分の20を超えたため、当中間連結会計期間より独立掲記することとしております。この表示方法の変更を反映させるため、前中間連結会計期間の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前中間連結会計期間の連結財務諸表において、「営業外収益」の「その他」に表示していた126百万円は、「不動産賃貸料」49百万円、「その他」77百万円として組み替えております。

(中間連結損益計算書関係)

※1 その他の営業費用のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
支払手数料	11,503百万円	13,127百万円
広告宣伝費	9,039 "	9,264 "
貸倒引当金繰入額	30,936 "	28,756 "
従業員給与手当賞与	6,889 "	7,766 "
賞与引当金繰入額	1,624 "	1,507 "
退職給付費用	259 "	266 "

※2 減損損失の内容は次のとおりであります。

前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

場所	用途	種類	減損損失
アイフル株式会社 本社	金融事業用資産	ソフトウェア仮勘定	1,582百万円

当社グループは、金融事業につきましては各事業会社をグルーピングの最小単位としております。

上記の金融事業用資産について、一部のサービスのために進めていたシステム開発において、開発方針の見直しの意思決定がなされたため、当該システム開発に係るソフトウェア仮勘定について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。

当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

該当事項はありません。

※3 事業構造改善費用の内容は次のとおりであります。

前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

該当事項はありません。

当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

海外子会社において人員の適正化を実施した結果発生した特別退職金等を、事業構造改善費用として計上しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2024年5月10日 取締役会	普通株式	483	1.00	2024年3月31日	2024年6月6日	利益剰余金

2. 基準日が当中間連結会計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当中間連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

3. 株主資本の金額の著しい変動

当社は、2024年7月8日開催の取締役会決議に基づき、2024年7月29日付で、譲渡制限付株式報酬による自己株式145,894株の処分を行っております。当該自己株式の処分により、その他資本剰余金が58百万円、自己株式が114百万円減少しております。なお、その他資本剰余金の残高が負の値となったため、その他資本剰余金を零とし、当該負の値をその他利益剰余金から減額しております。

2024年5月27日開催の取締役会決議に基づき、当中間連結累計期間において、自己株式5,151,200株の取得を行い、自己株式が1,999百万円増加しております。

この結果、当中間連結会計期間の利益剰余金の残高は96,991百万円、自己株式の残高は4,541百万円となっております。

当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2025年5月9日 取締役会	普通株式	478	1.00	2025年3月31日	2025年6月5日	利益剰余金

2. 基準日が当中間連結会計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当中間連結会計期間の末日後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2025年9月29日 取締役会	普通株式	2,872	6.00	2025年9月30日	2025年12月5日	利益剰余金

3. 株主資本の金額の著しい変動

当社は、2025年6月30日開催の取締役会決議に基づき、2025年7月22日付で、譲渡制限付株式報酬による自己株式166,261株の処分を行っております。当該自己株式の処分により、その他資本剰余金が60百万円、自己株式が130百万円減少しております。なお、その他資本剰余金の残高が負の値となったため、その他資本剰余金を零とし、当該負の値をその他利益剰余金から減額しております。

この結果、当中間連結会計期間の利益剰余金の残高は124,214百万円、自己株式の残高は4,410百万円となっております。

(企業結合等関係)

(株式取得による企業結合)

1. 企業結合の概要

(1) 被取得企業の名称及び事業の内容

被取得企業の名称：株式会社テンプレート

事業の内容：システム・エンジニアリング・サービス事業

(2) 企業結合を行う主な理由

株式会社テンプレートは、金融・行政系の基幹システムで依然として多用されるCOBOL言語や保険業務知識を身に着けたITエンジニアが多く在籍しております。株式会社テンプレートが有する長年培ってきたノウハウや豊富な取引実績は、当社グループの内製化に寄与するものと考えております。

(3) 企業結合日

2025年5月1日 (株式取得日)

2025年6月30日 (みなし取得日)

(4) 企業結合の法的形式

株式取得

(5) 結合後企業の名称

変更ありません。

(6) 取得した議決権比率

取得後の議決権比率 100.0%

(7) 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として株式を取得することによるものであります。

2. 中間連結会計期間に係る中間連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間

2025年7月1日から2025年9月30日まで

3. 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	205百万円
取得原価		205百万円

4. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

(1) 発生したのれん

127百万円

(2) 発生原因

主として今後の事業展開によって期待される将来の超過収益力であります。

(3) 償却方法及び償却期間

7年にわたる均等償却

(株式取得による企業結合)

1. 企業結合の概要

(1) 被取得企業の名称及び事業の内容

被取得企業の名称：スマートリンク株式会社

事業の内容：システム・エンジニアリング・サービス事業

(2) 企業結合を行う主な理由

スマートリンク株式会社は、参入障壁の高いクレジットカードシステムにおける豊富な経験・知識を有する人材が在籍しております。スマートリンク株式会社が有する長年培ってきたノウハウや豊富な取引実績は、当社グループの内製化に寄与するものと考えております。

(3) 企業結合日

2025年6月20日 (株式取得日)

2025年6月30日 (みなし取得日)

(4) 企業結合の法的形式

株式取得

(5) 結合後企業の名称

変更ありません。

(6) 取得した議決権比率

取得後の議決権比率 100.0%

(7) 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として株式を取得することによるものであります。

2. 中間連結会計期間に係る中間連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間

2025年7月1日から2025年9月30日まで

3. 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	179百万円
取得原価		179百万円

4. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

(1) 発生したのれん

153百万円

(2) 発生原因

主として今後の事業展開によって期待される将来の超過収益力であります。

(3) 償却方法及び償却期間

6年にわたる均等償却

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	アイフル 株式会社	ライフカード 株式会社	計		
営業収益					
外部顧客からの営業収益	53,416	18,836	72,252	19,020	91,273
セグメント間の内部営業収益 又は振替高	14	175	190	29	219
計	53,431	19,011	72,442	19,050	91,493
セグメント利益	6,200	665	6,866	564	7,430

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、A G ビジネスサポート株式会社及びA G 債権回収株式会社等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位: 百万円)

利益	金額
報告セグメント計	6,866
「その他」の区分の利益	564
セグメント間取引消去	△18
その他の調整額	△224
中間連結損益計算書の親会社株主に帰属する中間純利益	7,188

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当中間連結会計期間の「アイフル株式会社」セグメントにおいて、減損損失1,582百万円を計上しております。

減損損失の詳細については、「2. 中間連結財務諸表及び主な注記 (4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 (中間連結損益計算書関係)」の「※2 減損損失の内容」をご参照ください。

(のれんの金額の重要な変動)

当中間連結会計期間の「その他」の区分において、前連結会計年度まで持分法適用非連結子会社であった株式会社F P Cの連結子会社化及び2024年6月28日付でビットキャッシュ株式会社の株式を取得したことにより、のれん10,187百万円を計上しております。

当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	アイフル 株式会社	ライフカード 株式会社	計		
営業収益					
外部顧客からの営業収益	59,326	19,386	78,712	25,741	104,454
セグメント間の内部営業収益 又は振替高	26	186	213	91	305
計	59,352	19,572	78,925	25,833	104,759
セグメント利益	12,619	△58	12,561	2,036	14,597

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、A G ビジネスサポート株式会社及びA G 債権回収株式会社等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位: 百万円)

利益	金額
報告セグメント計	12,561
「その他」の区分の利益	2,036
セグメント間取引消去	△1,258
その他の調整額	△676
中間連結損益計算書の親会社株主に帰属する 中間純利益	12,661

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

当中間連結会計期間において、セブンシーズ株式会社、株式会社L i b l o c k、株式会社セイロップを当中間連結会計期間の期首より連結の範囲に含め、また、2025年5月1日付で株式会社テンプレート、2025年6月20付でスマートリンク株式会社の全株式を取得し、いずれも2025年6月30日をみなし取得日として、当中間連結会計期間より連結の範囲に含めたことにより、のれんが1,123百万円増加しております。